検電器風車回転チェッカー（ペンシル型）

取扱説明書

現場で手軽に風車型検電器の風車回転確認を実施できます。

実用新案取得済

【特徴】

- ペンシル型で小型です。
- 小型・軽量で現場への携帯に便利です。
- 風車型検電器の作業直前の確認で作業安全性の向上に役立ちます。

【各部の機能説明】

①キャップ　；　先端保護および感電防止用のキャップです。
②電圧印加部；　風車(回転体)の検査をするための高電圧を印加する電極です。
③本体　；　圧電素子を収納してあります。
④シャフト；　検査をする際に押す部分です。

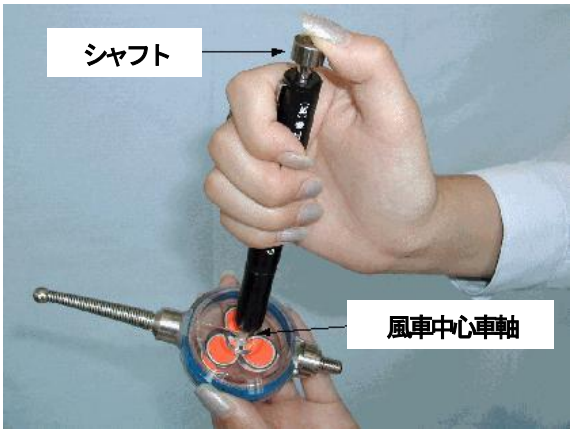
【使用方法】

手順１；先のキャップを外します。

手順２；先端の金属部分を風車型検電器の風車中心車軸に当てます。

手順３；後ろのシャフトを押し込みます。

手順４；カチット音がした時、風車型検電器が正常な場合、風車が回転します。



【ご注意】

・本製品は風車型検電器全体を検査するものではありません。

・本製品にてコロナ風車の回転動作検査を行う際には、風車型検電器を指先で浮かす様に外周部を持ち、手のひらが検電器裏側の風車中心車軸に接触しないようにして下さい。（ 電圧を印加する際に、風車中心車軸を通して感電する恐れがあります。）

・本製品の先端部は高電圧を発生しますので、絶対に人体へ向けての使用は行わないで下さい。

・水に水没させた直後の使用は絶対にしないで下さい。（ 感電の恐れがあります。）

・本製品は水滴付着状態での動作確認はしておりますが、完全防水処理構造ではありませんので、安全のため多湿の場所での使用は極力避けて下さい。

・本製品を水に落とした場合は、直ちに水分を拭き取り、常温にて２～３日放置後内部が完全に乾燥した状態に戻ってから、使用して下さい。

・ 本製品は電圧発生部に小形圧電素子を使用していますので解放状態での放電（ 空打ち ）を行うと寿命が極端に短くなるため、不必要な連続打ち(10 回以上)や、空打ちは絶対に行わないで下さい。

・ 電圧発生に小形圧電素子を使用のため１万回以上の使用の場合、この劣化により電圧の発生が小さくなります。この場合、新しいものへお取替ください。

【性能諸元】

- 発生電圧：約６０００Ｖ（平均値）
- 寸　　法：長さ１２０ｍｍ×直径１５ｍｍ
- 重　　量：約６０ｇ
- 適用機器：６．６ｋＶ～２７５ｋＶ風車型検電器

［お問い合せ先］
北海道計器工業株式会社
札幌市西区発寒14 条13 丁目
営業部 TEL(011)676-0015